



するめを焼きながら、「さいの神」に1年間の無病息災などを祈りました

それぞれの願い 「さいの神」に込めて…

今年も、小正月をいどころの伝統の「さいの神」行事が、各地でにぎやかに行われました。

下興野町では、部落青年会の皆さんが中心となって、この伝統の行事を約50年ぶりに復活させました。「戦前に行ったことがあるのですが…」という久々の復活に、町内の子どもたちをはじめ、おじいちゃん、おばあちゃんも多数参加。PTAの皆さん手作りのおしるこを食べながら「さいの神」の点火を待ちます。

機関区踏切近くの水田に作られた約4mのワラの塔に火が入れられたのは午後2時。勢いよく燃えさかる「さいの神」と中の竹のはじける音に子どもたちはびっくり。火の勢いが弱くなってからするめを焼き、あたり一面にするめの香りが漂うなか、集まった人たちは、それぞれの想いを込めて今年一年の幸せを願っていました。



約50年振りに復活し、勢いよく燃えあがる「さいの神」

花とみちの石油の里

広報

たいく

2/1

579号
昭和62年

人口の異動

■人口 64,685(+51)	12月中の動き
男 31,372	□出生 51 □死亡 30
女 33,313	□転入 131 □転出 101
■世帯数 17,019(+36)	□結婚 32 □離婚 6
12月31日現在	

- ▶子どもの肥満が増えています……②③
- …主な内容…○
- ▶精密検査の結果をお知らせします…④⑤
- ▶贈与税の申告受け付けを開始……⑥
- ▶児童手当受給該当者は届出を……⑦
- ▶指名参加願いを受付け……⑧
- ▶郵便による不在者投票の投票方法……⑩
- ▶リレー随想……⑫